

播磨町まちづくりパートナー事業 チャレンジ応援枠
活動成果報告書

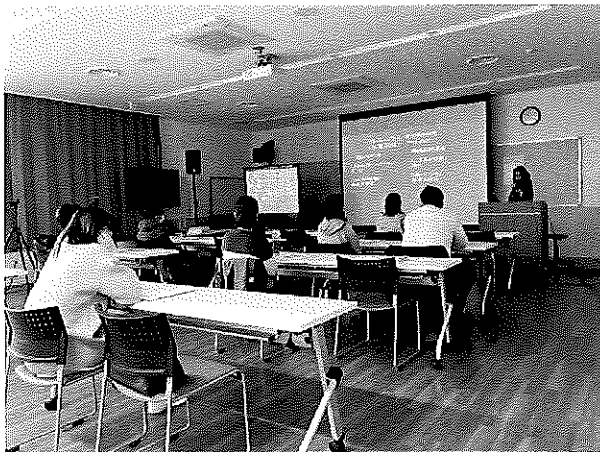
令和5年1月10日

事業名称	塚本岳さん講演会および親子遊びの会
活動団体名	森のようちえん そとっこ
補助対象事業名	① 塚本岳さん講演会 ②親子遊びの会
協働の相手 (町以外の相手 も含む)	・播磨町住民協働部協働推進課
実施場所	① 播磨町中央公民館 ②大中遺跡公園
実施期間	① R4. 11. 23 ② R4. 11. 22
事業の実施内容	<p>① 名古屋市緑児童館の館長や冒険遊び場のプレーパークもされている塚本岳さんに、子供の居場所について大人を対象にお話ししていただきました。外遊びが好きな親子の居場所のためにそとっこを作って活動してきましたが、そんな居場所の必要性を知ってもらいたいという思いから、この会を企画しました。当日の講演会では子どものもつ可能性や、児童館のもつ役割、大人子どもの関係（斜めの関係）、こどもの権利条約などお話ししていただきました。</p> <p>② 愛知県で森のようちえんこそあどの森を立ち上げ、子どもたちの遊びの場や成長の場を作ってきた塚本絵美さんと塚本岳さんご夫婦と、子どもを対象に歌遊びや体を使った遊びをしました。</p>
成果と課題	<p>① 播磨町全幼稚園および小学校にチラシ配布や駅前ポスター掲示、SNSでの宣伝など、できる限りの宣伝はしたつもりだが、開催2週間前でもなかなか参加者が集まらず焦った。でも知人の紹介や講師の呼掛けで数名参加していただけだったので、会としては成り立ったように思うが、播磨町内からの参加者はその半分ほどだった。主催側の知名度のなさや宣伝の仕方、アプローチの仕方など課題は多いと思った。</p> <p>ガクちゃんの講演内容は現代の子育て環境にはなくてはならない考えだと個人的には思うので、もっと多くの人に聞いてほしいと思った。</p> <p>当日の様子はチームWの楠瀬さんの助けもあり、YouTube 配信することができた。リアルタイムでの文字支援に対して、視聴者から「とても良いものだからもっと多くの人に観てもらえるように宣伝した方が良いのではないか」との意見をいただいた。もっと公のシステムになればいい</p>

など改めて思った。

- ② そとっこの活動に参加したことのない新規の家族が5組も来てくれた。親子でお外あそびや歌あそびなど、エミちゃんガクちゃんがレクチャーしてくれながら一緒に楽しむという会への参加は、行ってみたいなど思ってくれる人が多いのだなと思った。紙芝居をしながら歌って踊る。手遊びをしながらゲームをする。親子で触れ合いながら遊ぶ。普段のそとっこの活動にも活かしていけたらいいなと思った。でもエミちゃんガクちゃんが大切にしたい事はレクチャーしながら一緒に遊ぶこと(能動的)ではなく、そのあとに設けた自由時間に子ども自ら好きな遊びをすること(主体的)である、とも教えてもらったので、そのことを意識しながら思いっきり大人も一緒に楽しむ時間ができた会になったのではないかと思う。

※活動当日の写真についても提出すること



塚本岳さん講演会のようす



お外で親子あそびの会のようす